

□ 要請番号 (JL54523B05)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|------|------------|------|------|----|------|-----------------|
| ウガンダ | C151 農産物加工 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・2024/3 ・2025/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

ルウェンタンガ農学院 (RFI)

3) 任地 (ムバララ県ブバレ) JICA事務所の所在地 (カンパラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約5.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1994年に教育省職業訓練局により設立された、中学校卒業者が農業技術を学ぶための公立の農業技術訓練学院。全国に5校設立されている農学院の中で最大の規模を持つ。2年制のコースとして、「畜産コース」、「畑作生産・管理コース」、「畑作・経営管理コース」、「農業生産・経営管理コース」が実施されており、さらに2023年には「農産物加工コース」も開講される予定。また多くの短期コースも実施されている。敷地面積は50ヘクタールで大規模な圃場、牧草地を有する。生徒数は約750名でほとんどが寄宿生。教員数は28名。年間予算は約1億9千7百万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2023年に開講する農産物加工コースは新校舎が建設され、また世銀が支援している教育・スポーツ省のプロジェクトを通じての多くの実験、分析機材が調達されている。一方、RFIは農産物加工専門の教官は不足している上、研究室での実験、実習経験は乏しく、その指導技術は低い。JICA海外協力隊にはそれら教官の指導技術や知識の向上、また調達された資機材の有効利用への支援が期待され、派遣の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

具体的な指導・活動内容は隊員の経験・技術などをもとに校長と話し合っ決めてことになるが、農産物加工コースで以下が主に期待されている。

- カリキュラムに沿った実習計画立案支援。
- 教官の実習クラス指導技術向上支援。
- 実習クラスでの指導教官支援、生徒指導支援。
- 導入機材の操作支援。
- 学院内で課外授業・文化交流・日本語紹介などの企画と実施。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

電子顕微鏡/原子吸光分析器/分光光度計の他、基本的な分析、実験器具、農産物加工機器、調理器具、冷蔵庫、電子レンジ、恒温器等が2023年初めに調達されている。(主に中国製)

4) 配属先同僚及び活動対象者

■配属先同僚

- 農産物加工学科長(40代)
- 土壌・分子生物学研究室主任(40代)
- 教官3人(年齢25-45)、農業分野の大卒、専門学校卒

- 活動対象者
・教官28名、生徒750名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： (大卒) 農学系 備考：教官の学歴が同程度のため

[性別]： () 備考：

[経験]： (実務経験) 2年以上 備考：実習を担当する為

[汎用経験]：

- ・理科実験の経験や薬品・器具の知識
- ・農林水産業および関連する加工業の知識や経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (サバナ気候) 気温： (15～30℃位)

[電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (安定)

【特記事項】

- ・任地での生活使用言語は、英語もしくは現地語の一つであるニャンコレ語。現地訓練期間に語学研修を行う。